

地域を結ぶ 病院だより

創刊号
2003.2

かけはし通信



目次

- P2 院長あいさつ・病院憲章
- P3 当院の特色・健康管理センター
- P4 医療機器紹介
- P6 スクラムを組んでみんなの健康をお守りします
- P7 地域救命センター（救急科）の利用状況
- P8 ボランティアの募集・意見箱
- P9 健康一口アドバイス・入院患者への面会時間について
- P10 基本方針・患者さまの権利と責務

創刊のご挨拶



黒部市民病院

院長 高桜 英輔

このたび、黒部市民病院の情報患者さまや地域住民の皆様にお知らせすることを目的として病院情報誌『かけはし』を発刊することといたしました。

当院は、従来より、「地域に開かれた病院」、「住民参加型病院」を目指し、公開医学講座の開講、病院ボランティアの受け入れ・育成や各地域での移動健康教室、寝たきり防止教室の開催などの事業を行つております。

また、患者さまの権利として、医療情報の開示やセランドオピニオンも積極的に推進し、患者さま本位の医療の実践に努めております。

現在、医療を取り巻く社会的環境が厳しく、かつ、激動の折、全国の自治体病院でその存在理由が問い合わせられています。

当院は、今後も患者さまや地域の方々のための、そして、皆様に信頼される病院づくりに邁進いたします。この『かけはし』が、皆様方と病院とのまさに架け橋となり、少しでも病院に関心を持っていたら一助として役に立つことを期待し、創刊の挨拶とさせていただきます。

病院憲章

日々念心

病院の使命は、完全なる診療を行うにある。ために施設の充実、医療に携わる者の弛まぬ研究が必要である。

而も人畜しく、容易に医療を受け得るよう不斷に工夫努力を払うべきである。

病院の使命を完全にする
施設の充実医療に携わる
者の弛まぬ研究が重要である

日々念心

—初代院長開院の辞より—

「日々念心」は初代院長草野久也先生が開院に当たり、医療人の心がまえとして、職員に述べられた不滅の遺訓です。

ここに掲げた書は、草野先生と同郷であり、親交の深かつた日展審査員大平山涛先生の筆によるもので、病院の会議室に掲げ、「日々念心」を当院の病院憲章として心に深く刻み、私達の目指す明日への医療の道しるべにしたいと思います。

院長 高桜英輔



当院の特色

新川地区における中核的病院として、包括医療の充実と住民福祉向上のため献身的に努力しています。

①救急医療体制の充実

地域救命センター及び新川地域周産期母子医療センターなど開設し、休日、夜間の救急医療を行い、医療水準の向上に努めています。

②病診連携・病病連携の充実

開放型病床を設け、高度医療機器の共同利用や患者紹介の円滑化に努めています。

③高度医療の充実

不妊症に悩む患者様には顕微鏡体外受精、白血病患者様には骨髓移植など最新鋭医療機器を導入し医療水準の向上に努めています。

④予防医学の取り組み

ホテル級の宿泊施設を設け、ワンフロアで「人間ドック」が受けやすい環境に努めています。

⑤介護老人保健施設(カリエール)の充実

高齢化社会に対応し老人の医療と機能回復に努めています。

健康管理センター

治療から 予防へ



効率アップ！便利になったワンフロア受診！

人間ドックは、
全コース予約制です。

土・日曜日、祝祭日を除き
毎日実施しています。

〈健診・費用〉

基本コース	
人間ドック Aコース(半日)	35,000円
人間ドック Bコース(1日)	50,000円
人間ドック Cコース(1泊2日)	68,000円
肺ドックコース	13,000円
オプション検査	
脳ドック	20,000円
肺CT	10,000円
マンモグラフィ	2,400円

受診される方のご希望に応じて基本コースにオプション検査を追加してご利用いただけます。診察結果をもとに、医師や看護師がご説明致します。

助成制度もあります。お気軽にご相談ください。

医療機器紹介

コンピューテッド CR(Computed Radiography) (放射線科)

当院のX線撮影室(レントゲン室)では、CR(Computed Radiography)と呼ばれるデジタル機器を使用しています。

CRは、イメージングプレート(IP)と呼ばれる特殊な感光板でX線画像情報を取り込み、その画像情報をコンピュータ処理して画像を出力します。CRは、コンピュータにより適切な処理をしますので常に鮮明で見やすい画像を提供でき、一度撮影した画像のデータに様々な処理を加えることで見え方の違う画像を何度も作ることができるので診断領域が広がり、画像診断の精度が格段に向上了します。

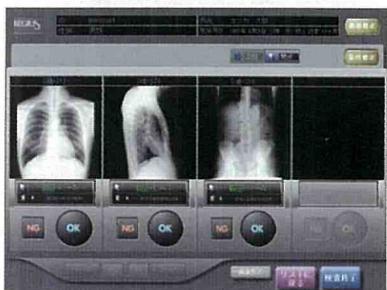
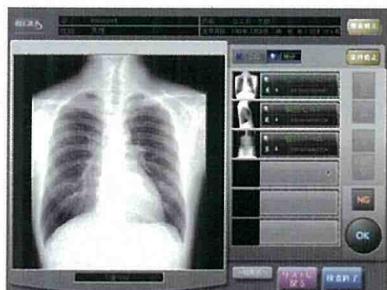
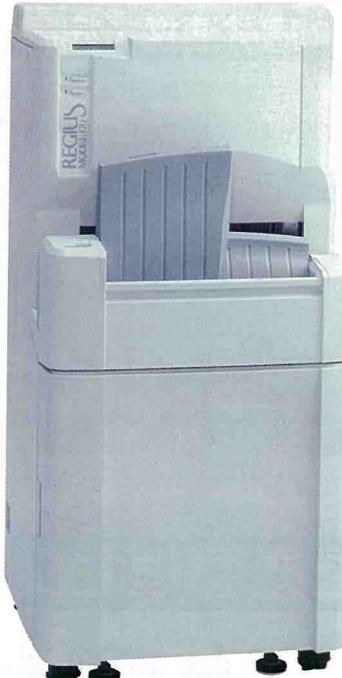
また、患者様のX線被爆も低減できるため、患者様へのよりよい医療サービスを提供できるようになりました。



左



右



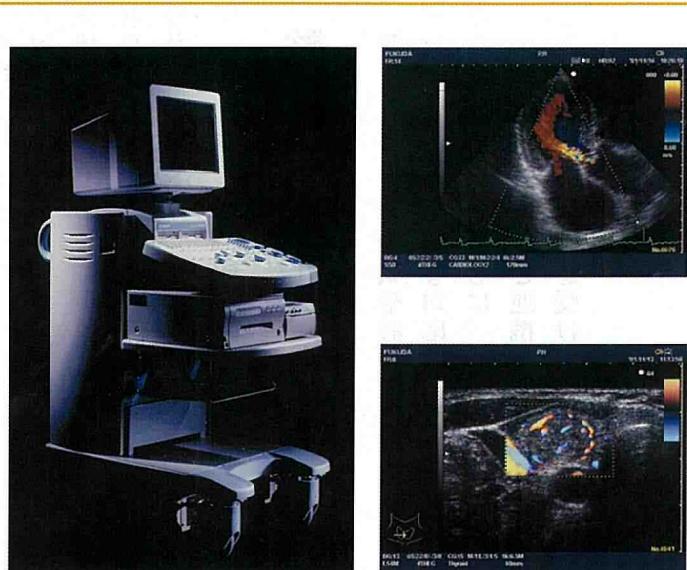
同じ画像を左側は軟部組織強調、右側は、骨強調処理したものです。

超音波診断装置 (小児科)

先天性心疾患は出生約1/100におこるといわれており、決して稀な病気ではありません。小児科では先天性心疾患の診断や、後天性心疾患として大きな割合を占める川崎病で心臓合併症の有無を調べるために、患者に負担をかけない検査として心臓超音波検査は必須なものです。

心雜音を主訴に外来を訪れる患者さんも多く、小児科外来に装置を常備したことにより、予約をとらずにいつでも検査することが可能になりました。

また、小児の心疾患は緊急性が要求されることも多く、いつでも適切に治療を行えるようになりました。



鼻腔式呼吸補助装置 (NICU)

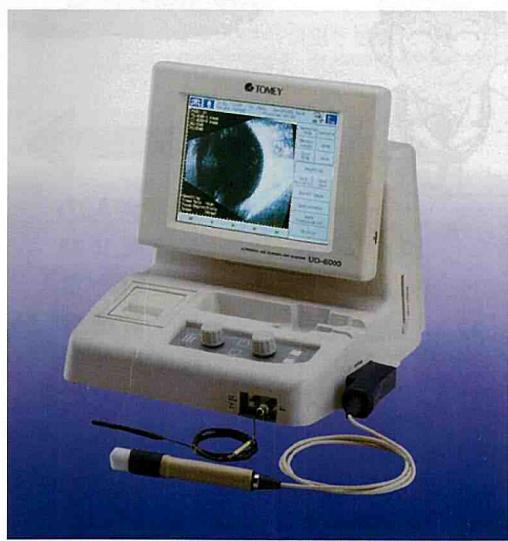
黒部市民病院にはNICU(新生児集中治療室)があります。予定週数より早く生まれた赤ちゃんは、体重も小さく肺も未熟なため自分で上手に呼吸ができない場合があります。また、満期に生まれた赤ちゃんでも、肺に溜まった羊水の吸収が十分でない場合に、呼吸障害を起こすことがあります。鼻腔式呼吸補助装置(nasal DPAP)は気管内挿管を必要とせず、鼻から強制的に空気を送り込むことにより肺を膨らませ呼吸を補助する装置です。侵襲度が低く、また管理も容易です。今まで人工呼吸器でしか呼吸不全を管理できなかつた赤ちゃんを、簡単な装置の使用だけで元気にしてあげることができますようになりました。



眼科用超音波装置 (眼科)

腹部などで使う超音波診断装置と原理は同じですが、眼に使えるように特殊化しています。眼中には普通、眼底検査などで直接観察できるのですが、白内障や硝子体出血などの病気で眼中が濁ってしまった場合には超音波診断装置が役に立ちます。また、眼球のさらに奥の方の病気の診断にも使われます。

もう一つの大切な役割は眼球の大きさを測ることです。白内障手術の際には水晶体を摘出して代わりに眼内レンズを移植しますが、この眼内レンズの度数を決定するためには眼球の大きさを正確に測る事が必要なのです。この装置を使うと眼球の大きさを0.01ミリ単位で測る事ができるため、白内障手術のためには不可欠な装置です。



市民病院と地域開業医（かかりつけ医）がスクラムを組んでみんなさんの健康をお守りします

地域開業医との連携

開放型病床

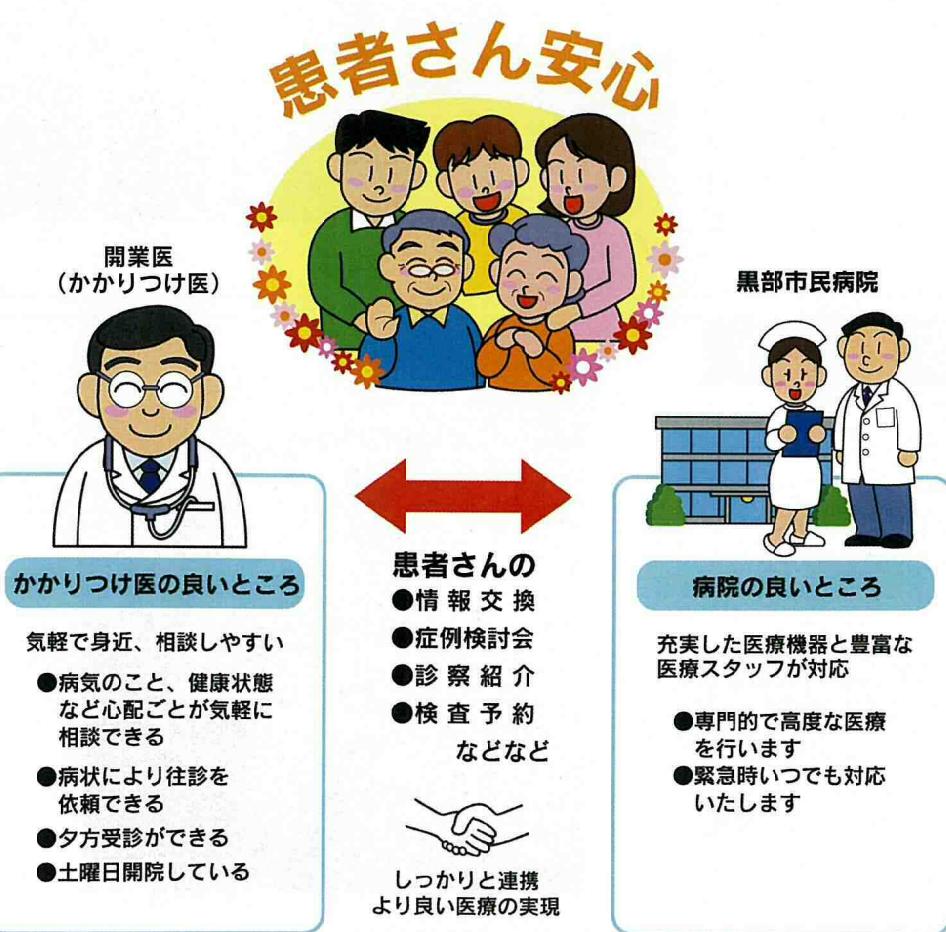
現在、患者さんの診療に関して黒部市・入善町・宇奈月町・朝日町の開業医（下新川郡医師会）と市民病院が密接に連携し、医療の機能や役割をお互いに分担し、病状により円滑で効果的な治療を行う体制が取られています。

病院内に地域医療連携室（フレンディ）を開設して、開業医からの連絡などにより入院される患者さんに対し、開業医とともに病状にあわせたより効果的で専門的な医療を行える体制が取られています。

- 病院で受診される際には可能な限り「かかりつけ医」の紹介状をご持参ください。

診療の円滑化

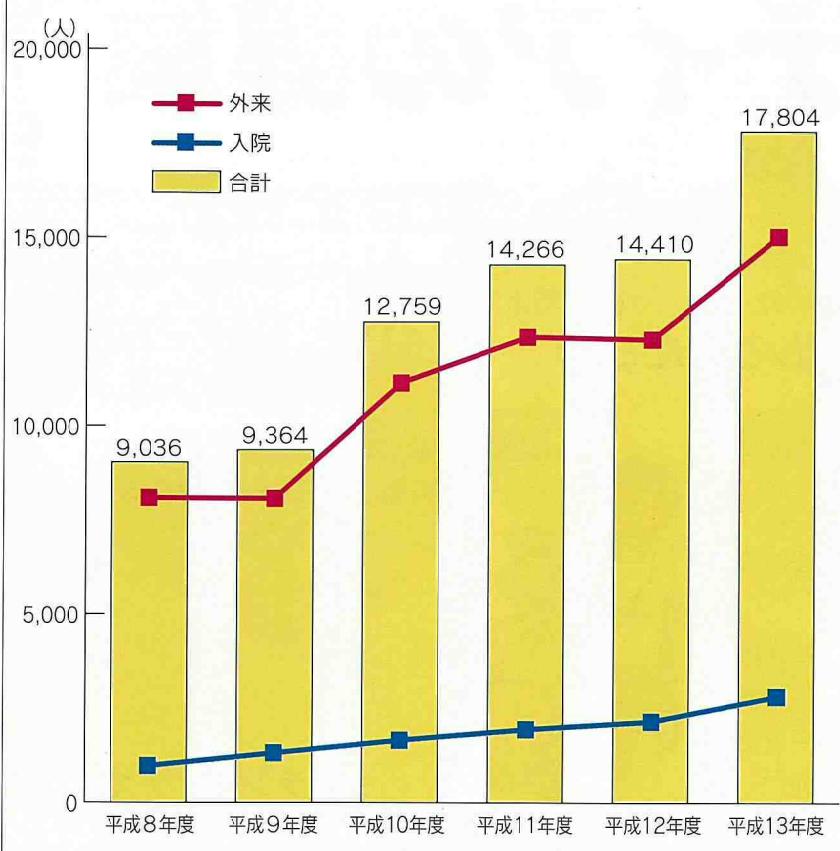
開業医からの紹介状や診療の情報などにより、敏速な対応と円滑な診療が行えるとともに、病院での治療後も、開業医と連携を図りながら効果的な治療を受け続けることができます。



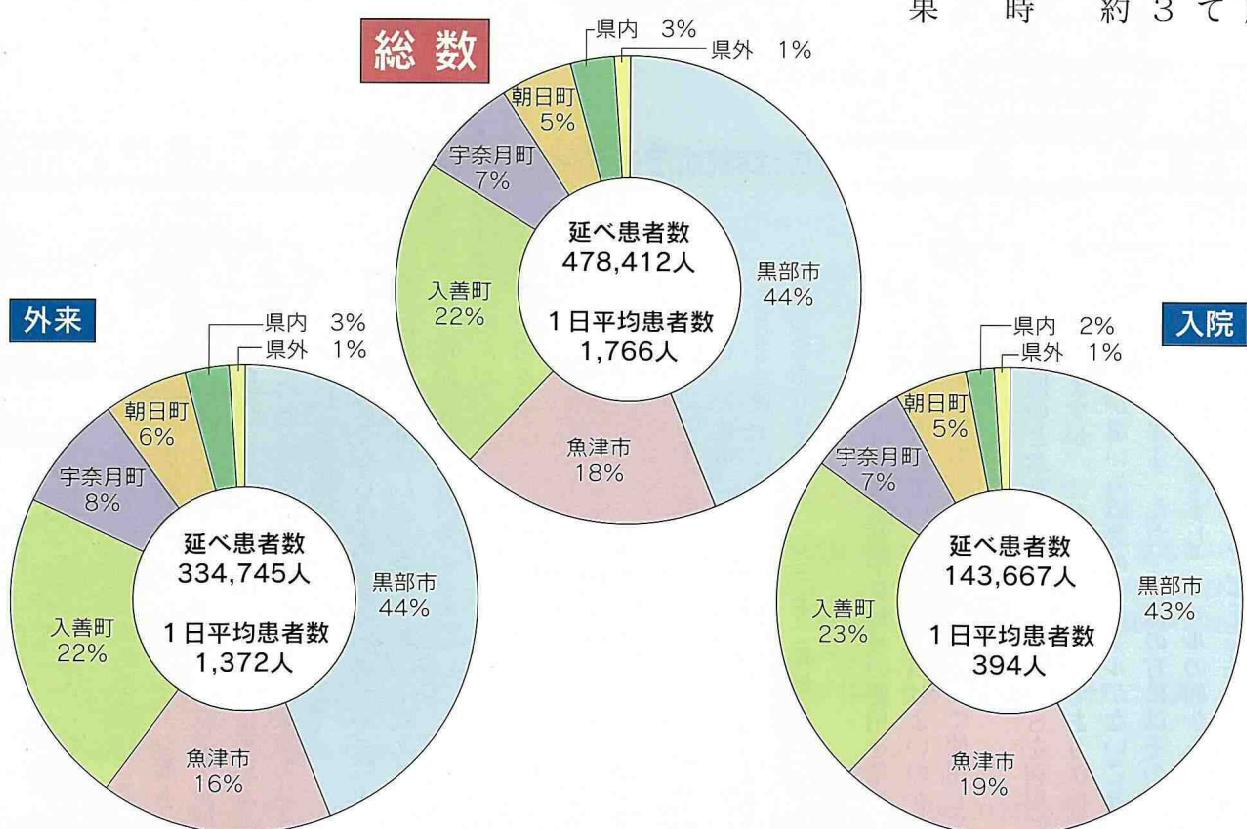
地域救命センター (救急科) の利用状況

救急患者取扱状況は左記のとおりですが、平成10年度に富山県より救命センターの指定を受けてから救急患者が急増しており、新川医療圏2市3町の救急車出動数平成13年度1,409件の約50%を受け入れております。施設・整備面はもちろんのこと、365日24時間受け入れ体制を整えております。一刻を争う救急医療の中心的役割を今後とも果たしていきます。

■救急患者受け入れ数



■利用者数に関する状況（平成13年度）



毎月1回、保険証を提示して下さるようお願いします

ボランティアの募集

やさしい心にこぼれる笑顔、心と心のキヤッチボール



あなたの手を貸してください

- 病院のわからない場所や用事のご案内
- 再診受付機への診察券の入れ方、受診方法の説明
- 受診申込書の代筆、病棟の案内
- 体の不自由な方、車椅子の方の付き添いと介助
- 治療に使うガーゼ、タオルの折りたたみ、整理
- カリエール入所者の入浴・食事介助やシーツ交換
- リハビリを受ける入院患者の車椅子の送迎
- 院内の演奏会・舞踊会への入院患者の車椅子での送迎
- 病棟文庫の本の入れ替え、整理
- 外国語通訳
- 院内の鉢物管理、絵画、書、草花の展示
- 構内の緑化（植木、芝の管理）

黒部市民病院ボランティア

『太陽の会』

あなたの都合のいい日と時間に
無理せずに自分でやれる
ボランティア



ボランティアで
「人間ドック」を受けましょう

1回につき1点の得点

30点で日帰りドック
70点で一泊ドック

のプレゼントが受けられます。

受付・問い合わせ先 黒部市民病院(病院ボランティア事務局) TEL54-2211(内線2801)

A 病院内では携帯電話やPHSの使用を禁止するよう掲示されていますが、職員はよいのか？医師も看護婦も事務員までもが平気で使用しているようですが…。

ご指摘のとおり職員は院内でPHSを利用しておりますが、これは院内PHSであり医療機器とは電波帯が違う故障等のトラブルがないことは認められております。ただ、外部の方にはその判断がつかないのは事実ですし、モラルの面からも公衆の場での使用は問題があることも理解しております。

Q 私はベースメーカーを埋め込んでいる者が、先日自販機コーナーでコーヒーを飲もうと休憩していた時、近くにいた人が携帯電話を使用したため胸が苦しくなり2日間ほど自宅で寝込んでしまいました。どうぞ病院へは携帯電話を持ち込まないようにしてください。お願いします。

携帯電話を院内へ持ち込ませないという規制はできませんが、すでに院内掲示にあるとおり院内では電源を切ることとなつております。しかしながら個人のモラルの低下により、一部心無い人がおりますことも事実です。病院においては他の施設よりも身心に負担を抱えておられる方が多く、より一層のモラルの向上が必要と存じます。

今後は、院内放送の実施、掲示の徹底、職員教育等これまで以上に周知・指導に力を入れていただき思っておりますので、どうぞご理解ください。

意見箱 病院内で携帯電話について



タバコの害

肌……血液がゆきわたらず黒ずみ、シワがふえてくる。

ガン……喉頭、肺、胃、膀胱、子宮などあらゆるガンの引き金に。

胎児……流産、早産、低体重兒出産の原因に。先天性異常の発生率は50%増し。

やせる?……血糖のレベルが高くなり空腹感が消え、胃の調子が悪くなり、味覚も損なうので、食欲減退。それでやせても不健康。

酒……アルコールと併せて吸うとガンが促進されて、死亡率が高くなる。

脳……血流を阻害し脳の働きの能率を下げる。脳卒中、クモ膜下出血の元凶にも。

心臓……心筋梗塞、狭心症など日本人のおもな死因となる心臓病を引き起こす。

眼……煙に含まれるシアノ化水素

がビタミンB₂を不足させ、タバコ弱視”に。
せきが出る、たんが切れない。気管支炎、気管支ぜんそく、喉頭ガンを引き起こす。

歯……ヤニで真っ黒、口臭も。
も肺ガンにかかる危険は吸わない人の2倍!

肝臓……肝硬変から肝臓ガンへ。

腸……ニコチンの刺激で、下痢や便秘の原因となる。

血管……血液の流れが悪くなつて、皮膚の温度は下がる。心筋梗塞・動脈瘤・脱疽も。

膀胱……膀胱ガンの死亡率は吸わない人の2倍以上。

胃……はき氣。胃ガン、胃潰瘍にかかる率が確実に増加。

入院患者への面会時間について

回診、処置及び患者様の安静療養のため、面会時間を定めております。お子様は、病気に対する抵抗力が弱く、感染しやすいので、お連れにならないようご協力をお願いします。

特に、面会時間以外の面会は、周囲の方の迷惑になりますのでご遠慮ください。

◆面会時間

**平日 午後1時～午後8時
休日 午前10時～午後8時**

病院ロゴマーク

初代病院長草野久也先生が病院前に植えられた赤がしの葉を、平和のシンボル鳩がくわえたデザインで、病院専用便箋や封筒、名札、名刺などに活用していきます。



からじ

「冬来たりなば春遠



まだ

まだ寒い日が

続いています。本誌

は患者さまや地域の皆さまと病院職員とをつなぐ「かけはし」として、黒部の厳冬の中で産声をあげました。本創刊号では、黒部市民病院の理念、基本方針を記し、更に当院の特色、健康保険センター、病診連携、病院ボランティア、地域救命センター、医療機器などを紹介しました。

今後も、病院の様々な取組みと最新の医療情報をお知らせしようと思つております。

何とぞ、皆さまの忌憚のないご意見を、編集部までお寄せ下さい。

委員一同、お待ちしております。

福井米正

かけはし通信 創刊号

発行所 黒部市民病院 広報委員会

黒部市三日市一丁目八一
（〇七六五）五四一三二二二代

発行日 平成一五年二月二〇日

印 刷 菅野印刷興業株式会社

当院の基本方針

患医一如=患者さまとともに悩み、患者さまとともに喜び合う医療=を目指します。

1. たえず医療水準の向上に努め、信頼される医療を提供します。
1. 患者さまの権利を尊重し、患者さま本位の医療を目指します。
1. 院内感染を防止し、安全な医療を推進します。
1. 地域の医療機関と密接に連携して地域に貢献します。
1. 職員が誇りを持っていきいきと働く職場を目指します。
1. 無駄を省き、健全経営に努めます。

患者さまの権利と責務

1. 平等に医療を受ける権利

国籍、宗教、性別、年齢、病気の種類、社会的地位などにかかわらず、どなたでも平等に適切な医療を受けることができます。

2. 良質の医療を受ける権利

わが国の医療水準に照らし、安全で最善の医療を効率的に受けることができます。

3. 十分な説明を受け自己決定する権利

これから受ける医療内容、危険性および回復についてわかりやすい言葉で十分説明を受けることができます。その上で検査、治療、その他の医療行為を受けるか否かをご自分の意思に基づいて選択することができます。

4. 医療情報の提供を受ける権利

診療録に記載されている検査結果、画像、診断名などご自分に関するあらゆる医療情報の提供を受けることができます。さらにまた、他の医療機関の医師

に意見を求めるために（セカンドオピニオン）これらの関係資料を借り受けることができます。

5. 個人情報が守秘される権利

医学上得られた個人情報をご自身の承諾なしにみだりに他人に漏らされることはありません。

6. 尊厳が守られる権利

患者さまの人格を尊重し、あらかじめ希望されるご自身の意思に沿つて患者さまの尊厳は守られます。

7. 診療にご協力していただく責務

医療は患者さまと医療者が対等の立場で相互の信頼関係の上で行われるものであり、患者さまも医療に主体的に参加していただきます。また、他の患者さまの治療や病院の医療提供に支障を与えないよう配慮していただく責務も負っていただきま

毎月1回、保険証を提示して下さるようお願いします